

馬のまちPR支援委託事業

1. 目的

競走馬をモチーフとしたクロスメディアコンテンツ『ウマ娘 プリティーダービー』とコラボすることで、幅広い層に栗東市の魅力を発信し、交流人口を増加させるとともに、地域経済活性化を図る。

2. 概要

日程：令和8年9月19日（土）～令和8年11月30日（月）

※市制施行25周年（9月23日 水・祝）に合わせての開催

① 栗東市限定トレーディングカードの配布（開始日：9月19日）

カードデザイン：R8年度選定キャラクターデザイン（全10種※）

※ウオッカ、ティエムオペラオー、ジャングルポケット、ビワハヤヒデ、トウカイテイオー、ダイワスカーレット、マヤノトップガン、ナリタブライアン、エアグルーヴ、フジキセキ

配布方法：市内参加店舗（※）での買い物利用者へ配布

※市内で小売業、サービス業等を営む事業者（大型店舗を除く）で本事業に参加を表明した店舗

配布方法：市内中小店舗にて税込500円以上購入ごとに1枚進呈、なくなり次第終了

配布枚数：市内取扱店舗分 50,000枚

市主催事業分 5,000枚

（参考）令和3年度馬カード実績：市主催事業分3千枚

市内取扱店舗分27万枚

② デジタルスタンプラリーによる市内周遊促進（開始日：9月19日）

形式：二次元コードを活用し市内5エリア（2エリアに区分した市内参加店舗、道の駅2カ所、観光案内所）にて実施

特典：ウマ娘オリジナルスマホ壁紙等

③ その他（等身大パネル展示、グッズ販売）

栗東市中小企業者等物価高騰対策デジタル化促進支援事業（案）

※令和7年度に引き続き、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（内閣府）を活用し、実施予定。

1. 目的

物価高騰や賃上げ等の影響を受けている事業者が、業務の効率化や経費節減等を図るために実施する、デジタル化による生産性向上の取り組みを支援することによって、市内中小・小規模事業者の経営の持続と地域経済の活性化を図る。

2. 内容

以下の全ての要件を満たす事業者

※見え消し部は、昨年度との差異

- ① 市内に事業所を有し、今後も事業を行う事業者
- ② ~~物価高騰や賃上げ等の影響を受けている事業者（※）~~
—（※令和7年1月以降いずれかの月の原材料費や光熱水費等のいずれかが、令和2年から令和6年の同月比で5%以上上昇している事業所を有する中小企業者）—
- ③ 前年度において、栗東市中小企業者等物価高騰対策デジタル化促進補助金の交付を受けていないこと。

【補助金額・補助率】

上限 200,000 円 ・ 対象経費の 3 分の 2

【対象事業】

- (1) 販売状況や顧客情報等の管理システムの導入
- (2) A I 等を活用した販売戦略や市場分析等
- (3) ネットショッピング等の電子商取引サイト制作
- (4) デジタルを活用した店舗環境改善整備（フリーWi-Fi 環境整備を含む。）
- (5) キャッシュレスシステムの導入
- (6) セルフオーダーシステムの導入
- (7) 予約管理システムの導入
- (8) 経理及び会計システムの導入
- (9) 人事管理システムの導入
- (10) グループウェアシステムの導入
- (11) クラウド管理の導入
- (12) ~~サイバーセキュリティへの対策~~

3. 予算

6,525 千円

＜支援金譲渡委託費：6,000 千円（30 者分） 事務委託費：525 千円＞

4. 申請

【申請手順】

電子申請



交付決定通知（郵送）

○申請から約 1 週間程度（審査期間）



補助金交付（振込）

○交付決定から約 4 週間程度

【申請書類】

- ①申請書兼請求書（裏面：誓約書）
- ②対象事業を実施したことを証する書類
- ③対象経費を支出したことを証する書類
- ④市内に事業所を有することが分かる書類（確定申告書、履歴事項証明書等）
- ⑤市税の完納証明書
- ⑥物価高騰の影響を受けていること分かる書類（光熱水費の領収書、確定申告書等）
- ⑦振込先の分かる通帳の写し等

【申請期間】

令和8年10月20日（火）～令和9年1月29日（金）

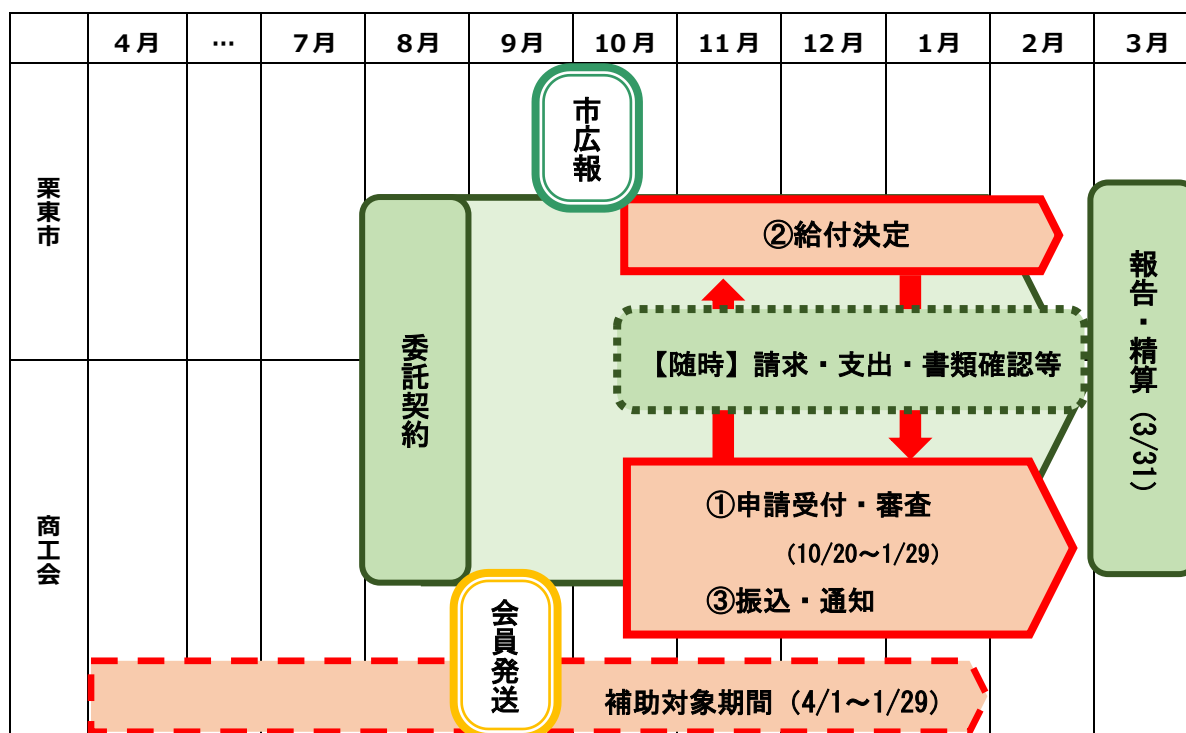
【補助対象期間】

令和8年4月1日（水）～令和9年1月29日（金）

【申請方法】

栗東市商工会へ（電子・持参・郵送）

5. 事業スケジュール



(仮称) 学生によるフィールドワーク調査

1. 目的

これまでコンサルタント会社へ委託して行っていた各種調査を、大学等の研究機関の協力を得て、学生によるフィールドワークによって行うことで、より実態に近い状況を把握する。調査結果は、評価および検証を行い、当市の賑わい創出や地域経済の活性化へつなげる。

学生は、フィールドワークを通して、データ収集・分析力やコミュニケーション能力、問題解決能力など、これからの学びや将来に必要な力を身につけることができる。

2. 概要（予定・案）

※フィールドワークの実施内容については大学等と要協議

場所： 栗東駅前および手原駅前

内容： ・駅前の空き店舗に希望する店舗のカテゴリ調査（対象：市民、市内事業者）
・平日及び休日の時間帯ごとの顧客の傾向調査（対象：市内事業者）
・平日及び休日に駅前を利用する人の傾向調査
・エリアごとの店舗カテゴリ分布調査

など

人数： 10名

3. 予算

○報償費 240,000円

@1,200円×10名×2時間×10日

○交通費 198,000円

@990円×往復2×10日×10名